

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 福山市

1. 事業名称 コミュニケーション能力UPの日本語教室2014

2. 事業の目的

日本で生活する外国人市民が、地域の一員として生活できるよう、地域活動や交流イベントを通じて生活に直結した日本社会の制度や必要な日本語能力の習得を図ることにより、多文化社会の実現をめざす。また、事業周知や効果の検証については、行政、団体、企業との協働で実施することにより、体制整備を図る。

3. 事業内容の概要

日本語教室では、地域住民とのコミュニケーションが図られ、地域の一員として生活できるよう、生活に直結した日本社会の制度を学び、地域活動を通じて必要な日本語能力の習得を図る。市内で開催されている日本語教室は8教室あるが、開催地域が限定されているため、外国人市民がより参加しやすいよう開催場所を増やしていくことが望まれており、将来の自主的運営をめざして新たな教室を開催し、事業内容を検証することにより日本語教育の体制整備を行う。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 4月2日 13:30～ 15:00	1.5時 間	市役所90会 議室	村田 民雄 有廣 清子 田淵 五十生 渡辺 慎吾 内田 咲百合 事務局 2名	1. コミュニケーション能力UPの日本語教室について 2. 事業の周知方法について 3. 日本語教室連絡会議について 4. 事業結果、評価の周知方法について	1. 日本語教室の効果的な実施について 2. 日本語教育の充実方策について 3. 福山市国際化推進プランについて
2	平成27年 3月19日 15:30～ 16:30	1.0時 間	市役所90会 議室	村田 民雄 有廣 清子 渡辺 慎吾 内田 咲百合 事務局 2名	1. コミュニケーション能力UPの日本語教室について 2. 事業評価の周知方法について 3. 日本語教室連絡会議について 4. 多文化共生の推進について	1. 日本語教室の成果と課題について 2. 日本語教室連絡会議の在り方について 3. 多文化共生社会の充実について 4. 福山市国際化推進プランの充実について 5. 新たな日本語教室の開設について

5. 取組についての報告

○取組1：日常生活に必要な日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

市内の各地において外国人市民が気楽に集い、日本語が学べる場づくりを促進し、多様性を生かしたまちづくりの推進を図る。

(2) 取組内容

日本の年中行事や習慣を理解するため、子どもフェスティバルやまつながカーブチェアなどの市全体の行事に参画することを通じて、コミュニケーションを図りながら地域生活に役立つ日本語能力の向上を図る。

(3) 対象者

市内及び近郊に居住又は勤務する外国人市民で、日常生活での会話ができ、日本語能力の学習に関心がある人。また、ひらがな、カタカナが読み書きできる人。

(4) 参加者の総数 32人
出身・国籍別内訳

インドネシア	6人	アメリカ	6人
中国	4人	フィリピン	3人
ブラジル	3人	タイ	3人
ロシア	2人	モンゴル	2人
台湾	2人	インド	1人

(5) 開催時間数(回数)61時間 (全19回)

(6) 取組の内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年6月7日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	17人	インドネシア(5人), 中国(3人), フィリピン(2人), モンゴル(2人), タイ(1人), ブラジル(1人), 台湾(1人), ロシア(1人), インド(1人)	①アンケート, インタビュー, ②プレイズメントテスト, ③紹介	①アンケート終了後, インタビュー②能力試験問題, ③ペアでインタビューし合い, 全体で相手を紹介, ④文法的な間違いの説明・練習	有廣清子	藤原真奈美
2	平成26年6月21日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	15人	インドネシア(5人), 中国(4人), モンゴル(2人), タイ(1人), フィリピン(1人), ロシア(1人), インド(1人)	①テスト返却, フィードバック, ②日本語の学習方法③漢字④歌	①前回のテストの返却し, 解説②机上学習以外の学習方法(なぞなぞ, 早口言葉), 聞く, 辞書を見る方法等どんな方法で学習か発表する③漢字, 2つのグループに分かれて学習④歌「花は咲く」, 歌詞の意味を説明	有廣清子	児玉潤子
3	平成26年7月5日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	14人	インドネシア(4人), 中国(2人), 台湾(2人), タイ(2人), ブラジル(1人), フィリピン(1人), モンゴル(1人), ロシア(1人)	①前回の復習②自国・日本のスポーツについて話す③漢字	①ペアになり, 質問し合い, 全体で発表②クイズで日本人がよくするスポーツを当てる。自国のスポーツについて話す。③漢字を3グループに分かれて学習	有廣清子	藤原真奈美
4	平成26年7月19日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	15人	アメリカ(4人)インドネシア(3人), タイ(3人), 中国(1人), モンゴル(1人), ブラジル(1人), フィリピン(1人), ロシア(1人)	①自国と日本の食事について話す。経験を述べる②漢字③早口言葉④歌	①朝, 昼ごはんについて日本と自国での違いを表に書き発表, 「食品別目安量」の表を見て確認②漢字を3グループに分かれて学習③早口言葉を書く, 正しく言う。④歌	有廣清子	藤原真奈美
5	平成26年8月2日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	19人	アメリカ(4人), インドネシア(3人), タイ(3人), 中国(2人), 台湾(2人), フィリピン(1人), モンゴル(1人), インド(1人), ロシア(1人), タイ(1人)	①日常使う命令形②日本の食事を話す(2回目), 経験を述べる③なぞなぞ④漢字	①がんばれ, 走れ, 止まれ等絵カード, Fカードで理解, 練習, 会話をする。②料理を自分で作るか, 買うか, 食生活で困ったこと, 変わったことを話す。②なぞなぞを書く正しく理解し, 答える。③漢字, 3つのグループに分かれて学習	有廣清子	児玉潤子 藤原真奈美
6	平成26年8月30日13:00~16:00	3時間	市役所大会議室	19人	アメリカ(4人), タイ(3人), 中国(2人), フィリピン(2人), インドネシア(2人), ブラジル(2人), 台湾(2人), モンゴル(1人), ロシア(1人)	①自然災害について学ぶ②漢字③早口ことば④歌	①自然災害の意味を今回の広島県の災害写真等で確認, クイズで表現, 動作の知識を得た。防災リュックの中身を知る。②漢字, 2つのグループに分かれて学習③早口ことば④歌「翼をください」2回目	有廣清子	児玉潤子
7	平成26年9月6日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	10人	アメリカ(2人), インドネシア(2人), フィリピン(2人), 中国(1人), モンゴル(1人), タイ(1人), ロシア(1人)	①犯罪事故に遭った経験を話す。聞く②なぞなぞ③漢字④歌	①気持ちあいつちの表現を理解する。テープを聞き答えを考える②漢字前回の続き③なぞなぞゆっくり言い, 書き取り意味の確認, 答えを考え, 発表。④歌「みかんの花咲く丘」1回目	有廣清子	藤原真奈美

8	平成26年10月4日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	19人	アメリカ(4人), タイ(3人), フィリピン(3人), インドネシア(2人), ロシア(2人), ブラジル(2人), 中国(1人), モンゴル(1人), インド(1人)	日本の文化「生け花」	①紹介, 教師の自己紹介②歴史, 流れ③花器, ペットボトルに生ける④気づき, 講評	有廣清子	児玉潤子
9	平成26年10月18日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	12人	インドネシア(3人), タイ(3人), フィリピン(2人), 中国(1人), ブラジル(1人), モンゴル(1人), ロシア(1人)	①子どもフェスタに向けて②漢字③歌	①各国の(食べる, 飲む, 掃除する等)ジェスチャーで紹介, 会話の練習, ペアで練習発表②漢字前回の続き③歌「みかんの花咲く丘」2回目	有廣清子	藤原真奈美
10	平成26年11月1日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	8人	中国(2人), ロシア(2人), インドネシア(1人), フィリピン(1人), モンゴル(1人), タイ(1人)	①子どもフェスタに向けて②ストレス解消法, 日本の生活で困ったこと③健康チェック④歌	①フェスタの出席者の確認, 会話例を見て練習②それぞれの解消法を紹介③健康のためにやっていることを発表④歌「世界に一つだけの花」1回目	有廣清子	
11	平成26年11月3日10:00~15:30	5時間	ローズコム	12人	アメリカ(4人), タイ(3人), ロシア(2人), インドネシア(2人), フィリピン(1人)	「子どもフェスタ2014」参加	①母語のあいさつ表現等を紹介②事前に練習したことを子どもと会話	有廣清子	
12	平成26年11月22日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	9人	インドネシア(3人), フィリピン(2人), 中国(1人), モンゴル(1人), ロシア(1人), タイ(1人)	①子どもフェスタを振り返る②必要と思われる文型練習と会話③漢字④歌	①子どもフェスタの反省, 各国の挨拶, 質問に答える②必要と思われる文型(~だと思います。言いました。)を習得して会話する③漢字④歌「世界に一つだけの花」2回目	有廣清子	藤原真奈美
13	平成26年12月6日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	9人	インドネシア(4人), フィリピン(2人), モンゴル(1人), ロシア(1人), タイ(1人)	①仕事に関する知識②日常生活に必要な文法(2)③漢字④カーブチェーに向けて⑤歌	①就職活動, 読み・書く・考える・会話する。面接のための会話②家族の呼び方③カーブチェーの参加日時間帯④漢語・和語, 熟語の意味等, きれいに書く方法の紹介⑤歌「見上げてごらん夜の星を」1回目	有廣清子	
14	平成26年12月20日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	7人	インドネシア(2人), フィリピン(2人), モンゴル(1人), ロシア(1人), タイ(1人)	①仕事に関する知識②男女の役割③年末年始の日本の習慣を知る④カーブチェー⑤漢字⑥歌	①職業の名前と内容を知る。②男女の仕事と役割を自国と日本の場合について記入発表③年越しそば, おせち, 七草粥等写真を見ながら説明, 挨拶を実際に言う。④カーブチェー⑤歌⑥漢字	有廣清子	藤原真奈美
15	平成27年1月17日13:00~16:00	3時間	市役所90会議室	5人	インドネシア(2人), モンゴル(1人), ロシア(1人), タイ(1人)	①就職について②男女の役割③カーブチェー④歌	①履歴書を書く, 模擬の面接をする②夫婦の仕事の役割各国の夫婦の時間の使い方の差を知る。③カーブチェーの準備④歌「上を向いて歩こう」1回目	有廣清子	藤原真奈美

16	平成27年2月1日10:00～15:30	5時間	西部市民センター	9人	インドネシア(3人), 中国(1人), フィリピン(1人), タイ(1人), ブラジル(1人) モンゴル(1人), インド(1人)	行事「まつながカープチャー」に参加	各国の母国語を紹介するとともに会話による実地研修。母語のあいさつ表現等紹介	有廣清子	
17	平成27年2月7日13:00～16:00	3時間	市役所90会議室	5人	インドネシア(2人), フィリピン(1人), タイ(1人), モンゴル(1人),	①旅行について②擬態語, 擬音語について③漢字④歌	①旅行について思い出, 行きたい場所, 経験を話す。電話でホテルの予約をする。②擬態語, 擬音語の練習③カープチャーの振り返り, 各国の通貨の単位値段を聞く。③漢字の練習④歌を歌う。	有廣清子	
18	平成27年2月21日13:00～16:00	3時間	市役所90会議室	6人	インドネシア(2人), フィリピン(1人), タイ(1人), ロシア(1人), モンゴル(1人)	①挨拶を考えて書く, 言う②文法③漢字④, 歌	①お別れのあいさつを順に言う②文法理解の後絵を見て発表, 実生活に密着した問題があり楽しみながら学習③きれいに丁寧に書く④「花は咲く」3回目	有廣清子	
19	平成27年3月7日13:00～16:00	3時間	市役所90会議室	9人	インドネシア(5人), フィリピン(2人), タイ(1人), モンゴル(1人)	アンケート, 修了テスト, お別れの挨拶, 歌	各国の母国語を紹介するとともに会話による実地研修	有廣清子	藤原真奈美

(7) 参加者の募集方法

公共施設の窓口等へ募集要項を設置するとともに, 市内の各日本語教室や外国人市民支援団体へ呼びかけ依頼, エフエムふくやま(多言語放送)での放送を行った。

(8) 特徴的な活動風景

別紙のとおり

(9) 取組の目標の達成状況・成果

コミュニケーション能力を向上するため, 初回のインタビューで学習を希望する人が多かった会話を中心に, 旅行・災害・健康等について, 季節に応じたトピックを取り上げて学習した。母語での「あいさつ等を日本の子どもに教える」という実技(子どもフェスタ, カープチャー)では, 楽しく学ぶことができた。また, 参加するための準備を兼ねて行った「ジェスチャーで伝えよう」により, まだ十分ではない日本語で懸命に伝えようとする姿勢も見られるなど, 日本語が未熟であっても意志疎通ができるという自信が得られ, 日常生活にも活かすことができるものであった。

アンケート結果では, 子育て中の受講者が多く, 託児を実施したため, 安心して受講できた。また, 「子どもの学校の先生と話したい。」「会社で働きたい。」等意欲を持って勉強に臨むことができた。この教室では, 全員(最終出席者)が「とても満足できた。」との回答であった。

(10) 改善点について

出席数が後半になって減少してしまった。習熟度の違いや漢字圏, 非漢字圏とグループに分かれることも試みたが, 習熟度別のクラスを設けるなど, 学習が継続するための工夫が必要であった。

○取組2: 日本語教室連絡会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人市民が学ぶ日本語教室の横断的な情報の収集や意見交換を行うことにより, 総合的な発展をめざす。

(2) 取組内容

日本語教室の運営, 関係機関との情報共有, 意見交換, 多文化共生の地域社会に向けた意識啓発など運営上の課題点を共有することにより, 教室間の連携や情報提供を行う。

(3) 対象者
福山市内の日本語教室の代表者, 行政関係者

(4) 参加者の総数 28人
(出身・国籍別内訳 日本 28人)

(5) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年8月28日 14:00~15:30	1.5時間	市役所90会議室	15人	日本(15人)	各日本語教室の情報提供や意見交換を行い、総合的な発展をめざす。新たな日本語教室の開設をめざして方策を検討する。	1. 各日本語教室の運営状況について 2. 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業について 3. 情報交換, 意見交流 ・指導者ボランティアの確保について ・相談事例について	村田民雄 有廣清子	
2	平成27年3月19日 14:00~15:30	1.5時間	市役所90会議室	13人	日本(13人)	各日本語教室の情報提供や意見交換を行い、総合的な発展をめざす。新たな日本語教室の開設をめざして方策を検討する。	1. 各日本語教室の運営状況について 2. 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業について 3. 情報交換, 意見交流 ・外国人市民の実態調査の必要性について ・新たな日本語教室の開設について	村田民雄 有廣清子	

(7) 参加者の募集方法
各日本語教室及び市役所生涯学習センターに個別案内

(8) 特徴的な活動風景



(9) 取組の目標の達成状況・成果

各教室は個別で運営しているが、ボランティア不足等抱える課題は共通するものも多く、情報交換する中で円滑な運営に結びつけることができた。また、各生涯学習センター管内で日本語教室の開設に向けて取り組むことを確認することができた。

(10) 改善点について

日本語教室を開設するにあたっては、外国人市民の幅広い意見や要望などを反映する必要があるため、意識や実態を丁寧に把握する必要がある。

○取組3: 事業内容, 結果, 評価の周知

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教室等の情報をFMラジオやインターネットを活用した広報手段により、外国人市民により早く最新情報を提供する。

(2) 取組内容

市広報紙をはじめ、市ホームページに事業周知や事業評価について掲載するとともに、NPO法人のホームページへの掲載やブログ、またコミュニティ放送の多言語放送番組により事業の周知を行う。

(3) 対象者

市民（福山市在住の外国人市民）

(4) 参加者の総数 8人

(5) 開催時間数(回数) 6.0時間 (全 8回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 4月24日 16:00~ 17:00	1時間	市役所	1人	日本(1人)	ホームページの 作成	コミュニケーション能力UPの日本語 教室2014, 各日本語教室の概要 を福山市ホームページへ掲載	渡辺慎吾	
2	平成26年 4月30日 10:00~ 11:00	1時間	NPO事務所	1人	日本(1人)	ホームページの 作成	コミュニケーション能力UPの日本語 教室2014ページへ掲載	村田民雄	
3	平成26年 5月1日 12:15~ 12:45	0.5時間	エフエムふくや ま	1人	日本(1人)	多言語放送番組 での日本語教室 の紹介	エフエムふくやまの番組「アミーゴ！ 地球市民」において、日本語教室を 紹介	村田民雄	
4	平成26年 6月5日 12:15~ 12:45	0.5時間	エフエムふくや ま	1人	日本(1人)	多言語放送番組 での日本語教室 の紹介	エフエムふくやまの番組「アミーゴ！ 地球市民」において、日本語教室を 紹介	村田民雄	
5	平成26年 6月19日 12:15~ 12:45	0.5時間	エフエムふくや ま	1人	日本(1人)	多言語放送番組 での日本語教室 の紹介	エフエムふくやまの番組「大家好！ 地球市民」において、日本語教室を 紹介	村田民雄	
6	平成26年 6月26日 12:15~ 12:45	0.5時間	エフエムふくや ま	1人	日本(1人)	多言語放送番組 での日本語教室 の紹介	エフエムふくやまの番組「カイチョム チョム！地球市民」において、日本 語教室を紹介	村田民雄	
7	平成26年 11月10日 13:00~ 14:00	1時間	市役所	1人	日本(1人)	ホームページの 作成	コミュニケーション能力UPの日本語 教室2014の開催状況を福山市 ホームページへ掲載	渡辺慎吾	
8	平成26年 3月10日 13:00~ 14:00	1時間	市役所	1人	日本(1人)	ホームページの 作成	コミュニケーション能力UPの日本語 教室2014の開催状況を福山市 ホームページへ掲載	渡辺慎吾	

(7) 参加者の募集方法

行政とNPO法人が協働により事業の周知と成果の普及を行った。

(8) 特徴的な活動風景



(9) 取組の目標の達成状況・成果

ホームページの作成により、教室の最新情報を情報提供することができた。また、コミュニティ放送を通じて事業の周知を図ることができた。

(10) 改善点について

参加している受講生の感想やインタビュー等により、さらに細かく事業周知や評価結果を公表する必要がある。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

日本で生活する外国人市民が、地域の一員として生活できるよう、地域活動や交流イベントを通じて生活に直結した日本社会の制度や必要な日本語能力の習得を図ることにより、多文化共生社会の実現をめざす。また、事業周知や効果の検証については、行政、団体、企業との協働で実施することにより、体制整備の充実を図る。

(2) 事業の目的の達成状況

日本語教室では、コミュニケーション能力を向上させるため、会話を中心に、旅行・災害・健康等について取り上げ学習した。生活に直結した日本語能力を習得することができ、教室内でも自国の紹介などを通じてお互いのコミュニケーションを深めることができた。

日本語教室連絡会議では、各教室の情報を共有することにより、課題解決に向けての情報交換ができた。

事業内容の周知方法等については、各教室や外国人支援団体を通じたり、コミュニティ放送やSNSを活用することにより、効果的な情報提供を行うことができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

日本語教室においてイベントにボランティアスタッフとして参加したことにより、生活に直結した日本語能力を習得することができ、意欲的に日本文化を理解するきっかけになった。

地域社会において、多文化共生への理解が十分に得られない現状の中で、外国人市民を隣人としてとらえ、すべての市民が安心して暮らせる社会実現のため、市民全体の多文化共生に関する理解が極めて重要であるため、多文化共生社会は、行政だけで実現できるものではなく、市民が対等な関係を築き、日本人市民も外国人市民もそれぞれが地域社会のメンバーとして参画することにより、お互いに支えあう互助の関係をつくることができた。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

「生活者としての外国人」の多くは、まとまった学習時間の確保や継続的な日本語学習が困難な状況であり、慣れや繰り返しで覚えた日本語により生活している。日本社会の制度の理解が十分でないため、誤解からトラブルが生じることもあるため、日本社会の制度や慣習を学ぶことが重要となっている。

現在、開設している日本語教室の開催地域が限定されているため、外国人市民がより参加しやすいように、開催場所を増やすことが必要であり、自主的運営をめざして新たな教室を開催することにより、日本語教育の体制を整備することが必要となっている。

ii 今後の課題

「生活者としての外国人」が同じ地域に暮らす隣人として、地域活動や交流イベント等に参加することにより、ともにまちづくりの主役として参加していくことが大切である。外国人市民が気楽に集える場づくりを進めるとともに、日本人と交流できる場の開設を拡大していくことにより、多様性を生かしたまちづくりの推進を図る必要がある。

iii 今後の活動予定

外国人市民が関心があり、かつ実用的なテーマを通して日本語教室を開催することにより、「生活者としての外国人」が自ら興味を持って継続的に学習できる内容を創造しながら、日本語教室を開催する。

周知方法については、コミュニティ放送やSNSを活用して、最新情報を迅速に提供できる体制を整備する。

行政、団体、企業による協働の取組を発展させることにより、市内各地で開催している日本語教室相互の情報交換や交流を図り、各教室の特徴や課題を共有することにより、課題解決の促進を図ることが重要となっている。

国際交流協会や多文化共生を推進するNPO団体等と連携して、日本語教室等の多文化共生社会を実現するための事業を継続していくこととしている。

にほんごきょうしつ にじ
日本語教室「虹」のようす

だい かい
第1回 (2014.6.7)

文化庁 平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
「コミュニケーション能力UPの日本語教室2014」



にほん き
日本へ来たのは
いつですか？

がくしゅうてーま
◎学習テーマ

あんけーと いんたびゅー てすと しょうかい
アンケート、インタビュー、テスト、紹介

さん かしゃ にん たくじ ひとり
◎参加者 17人 (託児 1人)



いっしょ
一緒に
がんばりましょう！

かんじ べんきょう
漢字を勉強
したいです。



ふくやまし
福山市には、
いくつの国の人がいるか
知っていますか？



きんちよう
とても緊張
しています…



「はじめまして」
「よろしくお願ひします。」
となり せき ひと じ こしょうかい
隣の席の人と、自己紹介。
これからいっしょ
一緒にがんばりましょうね！



ふくやまし やくごじゅうか こく やくろくせん よんひやくにん がいこくじん し むん
福山市には約50カ国、約6,400人の外国人市民がいます。

にほん せいとし ぎょうじ さんか ちいき ひと しぜん かいわ こうりゅう
日本の制度を知ったり、行事に参加して、地域の人と自然な会話で交流できるよう、
にほんご ちから たか
日本語の力を高めます。

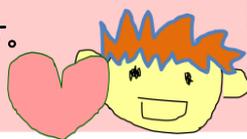


たくじ
託児のようす



こ ひと
子どもがいる人は、
いっしょ だいじょうぶ
一緒にきても大丈夫です。

じぶん か み ひと
自分の代わりに見てくれる人がいるので、
あんしん べんきょう
安心して勉強できます。



にほんごきょうしつ にじ
日本語教室「虹」のようす

だい かい
第8回 (2014.10.4)

文化庁 平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
「コミュニケーション能力UPの日本語教室2014」

がくしゅうてーま
◎学習テーマ

にほんぶんか いぼな
日本の文化「生け花」

さんかしゃ にんたくじ にん
◎参加者 19人 (託児 3人)



「はさみの使い方がむずかしい!」「これでいいか、わからない…」
という声もありましたが、花がすてきにみえる生け方を、とても真剣
に考えてじっくり取り組みました。

「みんなが元気で、優しい気持ちに
なれるといいな、と考えて作りました。」

全員で、感想を言い合い、どんなことに
気をつけて花を生けたか発表しました。
一人ひとりの個性あふれる、どれも
すてきな作品ができました。



にほんごきょうしつ **にじ** 日本語教室「虹」

だい かい
第11回 (2014.11.3)

こどもふえすていばる 子どもフェスティバル

ばしょ ろーずこむ
場所 ローズコム



がくしゅうてい ま
◎ 学習テーマ

こどもふえすていばるさんか
子どもフェスティバルに参加しよう

さんかしゃ にん
◎ 参加者 12人



ことし ひと
今年もたくさんの人で

にぎわっています!

にほんごきょうしつ にじ こーな
日本語教室「虹」のコーナーにも、
たくさんの方が来てくれるかな?



たい
タイがどこにあるか
知っていますか?



がっこう えいご
学校で英語を
なら
習いましたか?



たがろくご
「タガログ語」はとても
かんたん
簡単ですよ!



いんどねしめ
インドネシアのじゃんけん



ろしあご
ロシア語で「ありがとう」は
すばしーばい
「スバシーバ」と言います。



きてくれた子どもたちに、自分の国がどこにあるか、
どれくらいの方が住んでいるか、有名な物などを紹介
しました。

すたんぷかーどは、ききとったことを熱心にか
書き、
字でいっぱいになっていました!



きんちょう がくしゅう ほうほう
緊張したけど、学習してきた方法を

つか
使って、たくさんの子ともいっしょに楽しむ
ことができました!



にほんごきょうしつ
日本語教室「虹」

だい かい
第16回 (2015.2.1)

がくしゅうてーま
◎学習テーマ

かーぶちえー さんか
「まつながカーブチェー」に参加し、
ほご びょうげんなど しょうかい
母語のあいさつ表現等を紹介する

でんかしゃ にん
◎参加者 9人

かーぶちえー さんか ほご かんたん
「まつながカーブチェー」に参加して、母語で簡単な
すうじ かぞ かた くに しょうかい
あいさつや数字の教え方、国の紹介をしました。
こ おとな とても きょうみ たの
子どもも大人も、とても興味をもって、楽しく
いろいろなことを話しました。



すたんぷをあつ ひと
スタンプを集めた人には、
ぶれぜんと
プレゼントがあります！



いんどねしあ に
インドネシアと似ている
こっき
国旗があるので、
ちが せつめい
違いを説明します。

やく しま
約13,000の島が
あります。



すてーじはっぴよう
ステージ発表を
する人も、
いそがしい中、
き
来てくれました！



いんどねしあ
インドネシア



もなこ
モナコ



ほーらんど
ポーランド



もんごるご たまると いんど たがるくご ふいりびん
モンゴル語・タミル語 (インド)・タガログ語 (フィリピン) など、
くことば まな
さまざまな国の言葉であいさつを学ぶことができました。

